

令和2年3月16日

武雄市長 小松 政 様

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会  
委員長 信 友 浩 一

## 平成30年事業年度の業務実績に関する評価結果

### 1 評価の方法

武雄市立武雄市民病院移譲先病院評価委員会において新武雄病院の運営状況について評価を行った。評価は、当該法人より提出された平成30年事業年度に係る業務実績報告書をもとに評価の基本方針（平成23年1月24日策定）及び年度評価実施要領（平成23年1月24日策定）により行っている。

評価については、各年度実施する年度評価と目標期間を3年とする中期目標期間評価に大別し、今回は9年次の年度評価を小項目評価、大項目評価及び全体評価で行った。評価手法の概略は次のとおり。

- ・小項目評価 法人による5段階の自己評価と法人からのヒヤリング等を通じて、各委員により評価。
- ・大項目評価 各委員の評価を独立した評価として取り扱い、評点に応じて5段階で評価。
- ・全体評価 中期計画の進行状況全体について総合的に評価。

### 2 小項目評価

小項目評価の結果を次に示す。各委員において評価にばらつきがあったが、個々の委員の評価を尊重するためそれぞれ独立した評価とした。また、会議の内容及び評価点数を補足するものとして、評価コメント等を参考として追記した。

#### ※判定基準

- 5 年度計画を大幅に上回って実施している。
- 4 年度計画を上回って実施している。
- 3 年度計画を順調に実施している。
- 2 年度計画を十分に実施できていない。
- 1 年度計画を大幅に下回っている。

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

小項目	小項目細区分	法人 評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
救急医療の確保	救急医療体制の 維持・充実	4				5	
〃	消防との連携強化	4			1	4	
地域医療機関との連携		4			1	4	
診療科目、病床数等		4			1	4	
保健医療行政への協力		4			1	4	
病院の運営に関する意見の聴 取等		4				4	1
地域住民の意見の聴取		4				2	3
病院の継続運営		5				2	3

○救急医療の確保

(改善又は要望事項)

- ・救急医療は病院選定の決め手となった。引き続き、適正な救急対応をお願いしたい。

○地域医療機関との連携

(評価できる点)

- ・医師会への加入ができ、今後、地域連携がますます期待される。

(改善又は要望事項)

- ・常に、患者の紹介率、逆紹介率の向上を図られたい。

○診療科目、病床数等

(改善又は要望事項)

- ・基幹病院として必要とされる内科や放射線科等の充実をお願いしたい。

(2) 医療サービスの質に関する事項

小項目	小項目細区分	法人評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
高度医療の充実	高度医療の充実	5				2	3
	高度医療機器の計画的な更新・整備	4				5	
医療スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上	医療スタッフの確保	4				3	2
	専門性及び医療技術の向上	4				4	1
より安心して信頼のできる質の高い医療の提供	医療安全対策の徹底	4			3	2	
	患者中心の医療の実践	3			5		
	科学的な根拠に基づく医療の推進	4				5	
法令行動規範の遵守		4			1	4	
研修研究会を通じた地域医療への貢献		5				2	3
診療待ち時間の改善等		3			4	1	
患者・来院者のアメニティの向上		3			1	4	
患者の利便性向上		3			2	3	
災害時における医療協力		3			3	2	
市民への保健医療情報の提供・発信		3			4	1	

○医療医スタッフの確保、専門性及び医療技術の向上

(改善又は要望事項)

- ・医療に携わる者としてのコンプライアンス、接遇研修を定期的に行っていただきたい。

○より安心して信頼のできる質の高い医療の提供

(改善又は要望事項)

- ・インシデント・アクシデントレポートは、些細な案件であっても報告がなされるようお願いしたい。また、再発防止として、事案に対する検証をしっかりと行っていただきたい。
- ・患者、家族に寄り添う医療の実施に、一層努めていただきたい。

○患者・来院者のアメニティの向上

(評価できる点)

- ・当サービスについては、病院の特徴であり、良い取組みである。

○災害時における医療協力

(改善又は要望事項)

- ・隣接する消防本部との地の利を大いに生かしていただきたい。

(3) その他

小項目	小項目細区分	法人評価	委員の評価別人数				
			1	2	3	4	5
経営の効率化	法人としての運営管理体制の確立	4				5	
	業務執行体制の見直し	4			1	4	
	職員の職務能力の向上	4				5	
	収入の確保と費用の節減	4				4	1
当該医療圏での不足医療の把握		3			5		
地域貢献		4			1	3	1

○経営の効率化

(改善又は要望事項)

- ・入院診療単価及び外来診療単価に着目し、地域医療との連携を進めつつ、逆紹介も含め、業務の振り分けを検討されたい。

○当該医療圏での不足医療の把握

(改善又は要望事項)

- ・流出患者数の把握と原因分析を進め、ミスマッチの量を把握されたい。

○地域貢献

(改善又は要望事項)

- ・市民病院の暖簾を引き継いだという責務を全ういただきたい。

### 3 大項目評価

大項目評価については、各委員の小項目の評価結果を集計し、その評価点数に応じて中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況について評価した結果、次表のとおりとなった。

#### 【判定基準】

- 「特筆すべき進捗状況」 (評価委員会が特に認める場合)

中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。

- 「計画どおり」 (すべての項目が5～3)

中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。

- 「おおむね計画どおり」 (5～3の割合が9割以上)

中期目標・中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる。

- 「やや遅れている」 (5～3の割合が9割未満)

中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。

- 「重大な改善事項あり」 (評価委員会が特に認める場合)

中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

大項目	小項目評価数	各委員の小項目評価結果					大項目評価
		1	2	3	4	5	
武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項	8	0	0	4 (10.0%)	29 (72.5%)	7 (17.5%)	計画どおり
医療サービスの質に関する事項	14	0	0	23 (32.8%)	38 (54.3%)	9 (12.9%)	計画どおり
その他 (経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献)	6	0	0	7 (23.3%)	21 (70.0%)	2 (6.7%)	計画どおり

(1) 武雄市民病院事業譲渡契約の履行に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。引き続き、地域の中核病院として、救急患者等の受け入れ拒否が発生しない体制の強化を図ること。

また、診療科目について、必要とされる内科や放射線科等の充実を進めること。

(2) 医療サービスの質に関する事項

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。患者、家族に寄り添う医療の実施に、より一層努めること。

また、隣接する消防本部との地の利を生かし、事前の災害訓練も含め、急性期病院としての使命を果たす環境を整えること。

(3) その他（経営の効率化、当該医療圏での不足医療の把握、地域貢献）

昨年度に引き続き中期目標・中期計画の達成に向けて「計画どおり進んでいる」との評価となった。地域連携をより一層深め、診療単価等の向上による経営の効率化を進め、また、不足医療の把握として、流出患者数とミスマッチの量の把握し、原因分析を行うこと。

4 全体評価

昨年度と同じく、大項目については、それぞれ「計画どおり（評価4）」との評価とした。

平成30年6月には、武雄杵島地区医師会への入会を果たされ、より一層、地域医療との連携が進むことが期待される。

しかしながら、基幹病院として必要とされる内科や放射線科等の体制が充足していない現状もあるため、今後、診療体制を整えられる方策を検討いただきたい。

本会の評価結果について真摯に対応し、課題の改善へ努力されている新武雄病院の姿勢は大いに評価するとともに、課題点の改善に期待したい。

今後も引き続き、市民病院の暖簾を引き継いだという責務を全ういただきたい。